

テレマティクスを活用した新たな損害調査システムを導入

2019年4月26日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、テレマティクス(※1)技術を活用した新たな事故対応サービスを2019年4月より全国のサービスセンターに導入しました。

当社は、今後も先進デジタル技術を活用し、お客さまを全力でサポートしていきます。

※1「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載機と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組み

1. 背景

近年のテクノロジーの発展とともに、自動運転、コネクティッドカーなど自動車関連のサービスは急速に変化してきており、従来デジタル化されていなかった車の細かい運転情報などがデータ化されるようになっていきます。

当社は、テレマティクス自動車保険の販売を促進することにより、デジタル化に向けた取り組みを進めており、今般、事故対応においても、デジタル情報を活用した新しいサービスを提供するため、本システムを開発しました。

2. 新たな事故対応サービスの概要

<図表>

テレマティクスデータを活用して事故に至る経緯や周辺情報を瞬時にビジュアル化します。



3. 導入時期

2019年4月22日から全国の事故サービスセンターに導入しており、今後、順次機能拡大をしていきます。

4. システム概要

テレマティクス車載器から得られる位置情報を元に、地図データ上、お客さまが事故に遭われた場所、走行経路等を表示します。併せて、地図上に標識データ、道路規制データ、天候データを同時に表示させます。

このことにより、従来はお客さまや代理店が当社への事故連絡した際に、オペレーターが細かい事故状況や周囲の状況等を電話で確認していたものが、テレマティクスデータにより即時に判明するため、お客さまの説明の手間が大きく軽減されます。

5. 今後の展開

既に導入しているドライブレコーダー映像による事故状況の把握の精緻化と併せ、今後はAIを活用した過失割合の判定やお客さまの負担を軽減するためのシステムを開発予定であり、更なる保険金お支払いサービスの高度化を進めていきます。

当社は、これからも、最先端のテレマティクス技術を活用した自動車保険と事故対応等における新たなサービスで、これまで以上にお客さまを全力でサポートしていきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

